

(ウ) 始良市地域公共交通網形成計画策定業務委託事業者について
→事務局から会議資料 p 6 に沿って説明。委員からの質疑はなし。

(2) 協議事項

(ア) 市民からの要望について

- ・要望 1 : バス停の時刻表について (会議資料 p 7)

事務局 市民からの要望として、バス停の時刻表を老眼鏡を使わずとも字や数字を読めるくらい大きな文字にして欲しいとの要望がありました。これに関しての事業者の意見を聞きたい。

委員 (バス事業者)

掲示板の大きさ等にもよるが、要望のあった箇所を含めできるだけ分かりやすい時刻表に変更していく。

- ・要望 2 : バス停への椅子設置について

→事務局から会議資料 p 7～9 に沿って説明。

事務局 市民要望として、バス停への椅子・上屋の設置がある。現在、始良市には椅子・上屋の設置基準がない。設置基準を設けるか否か、設けるとした場合は基準をどのようにするのか協議して欲しい。

委員 ・公共交通の利用環境の改善という点において、高齢者や身体障害者のことを考えると市街地へ向かうバス停にだけでも設置したほうが良いのではないか。

・今後の始良市のまちづくり特に観光客に視点をいただいた設置をまち全体で考えることも必要である。

・道路状況にもよるが、車や歩行者の通行の妨げになるような場所への設置は難しい。特に車イスの通行を考慮しなければならない。

・設置が出来る場所までバス停の位置をずらす。または、道路沿いの民地への設置を相談することもひとつの方法である。

会長 今後、このようなケースがあった場合は、運行事業者・道路管理者・住民 (利用者) 等が一堂に会する場として設立された始良市地域公共交通会議のなかで協議を行い、対応策等を検討するというところでよろしいか。

⇒承認

(イ) 始良市地域公共交通網形成計画策定に関する調査内容や工程等について

→コンサル会社(株)九州経済研究所が会議資料 p 10、当日配布資料に沿って説明。

委員 調査配布対象の 3000 件は、どのように抽出するのか。また、始良市の人口約 7 万 5 千人に対して 3000 件は少ないのではないか。

九州経済研究所

始良市全世帯約 35,000 世帯の中から無作為に抽出する。また、統計学的には問題ない数である。さらに、乗り込み調査や施設の利用者を対象としたアンケート調査、座談会を予定しているので、多くの市民の声を聞くことができる。

⇒承認

(ウ) 始良市地域公共交通会議部会の構成(案)について

→事務局が会議資料 p 11 に沿って説明。原案のとおり承認。

5 その他

6 閉会